

議会に参加して

参加者数 50人

議会を見守る姿勢と行動が求められている



桑原正浩
(大津町引水)

ここ2年ほどは、
できるだけ時間を
つくって町議会を
傍聴しています。
すべての議案を

傍聴するのは難しいですが、議員全員の質問通告書に目を通すだけでも、「今、大津町で話し合われている事」がわかります。

今回の議会では、地域住民の方々の生活を便利にするための具体的な提案や、大津町の中小企業振興を旨とした条例策定という大所高所に立った質問、更には子どもたちが安全に通学し安心して授業を受けられるための事業のその後についての質問などが身近で興味深い項目でした。

その中で、私が足りないと感じている「町民参加の町づくり」に関する情報発信の多様化についての質問もありました。議会は町の方向性を決めるとしても大切な場です。私たちが町民がその場に参加しやすくなるような工夫を更に求めていきたいと思えますし、私たちもその情報をきちんと受け止めて議会を見守る姿勢と行動が求められていると感じました。

6/27(木) 議員研修会を開催しました！

講師には早稲田大学マニフェスト研究所 なかむら けん 中村健 事務局長

大津町議会では毎年識者を招いて、議員研修会を開催しています。本年度は昨年度に続き、27歳から徳島県川島町の町長を二期務められ、現在は早稲田大学マニフェスト研究所の事務局長である中村健先生をお招きし、「町村議会の現状と今後の展望」について講演をいただきました。



講師：早稲田大学マニフェスト研究所事務局長・熊本市政策参与 中村 健氏

中村事務局長は「議会自体が地域課題をどう見極めるのか、最終的な成果に向けて実践することが町の活性化につながり、人が住んでくれる町となる」と、ご自身の町長経験も交えて具体的に話されました。



町職員の皆さんも参加されました

有志の役場職員約20名も参加した講演では、一般質問のあり方や政策サイクル、全国の議会の動向等について具体的な助言がありました。

参加した議員からは、「議会の活動を住民の方にも知ってもらおうきっかけを、より多くつくらなければならぬ」など、活発な意見や質疑が多くありました。